

事務事業評価の評価結果について（平成29年度の事業に対する評価）

美里総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美里・地域振興課	体育館管理運営事業（美里総合支所）	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の場とし、また地域づくりや地域振興を増進するため、安全で安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行う。</p> <p>美里地域は津市のほぼ中間地点に位置し、みさとの丘をメインとして小規模ながら公共施設並びに体育施設が集中していることから練習などのスポーツ振興の場、趣味・生きがい対策などの健康増進の場として美里地域や隣接する津地域西部、久居地域北西部を中心に利用されています。また、手軽に楽しんでもいただけるコミュニティの場及び癒しの場としての役割を担っていけるように安全な施設管理に努めたい。</p>	快適で安心安全な施設管理運営	利用する市民目線で施設管理を行う。	900件	733件	施設の老朽化等に より良い環境整備を 適宜行い、安全で安 心な施設運営を行 う。	職員の環境整備に対 する意識を高め、関係機 関との連携強化を行うこ とが出来た。	3	施設を安全で安心して 快適に利用可能な状況に するため、市民目線で用 具、備品等の整理整頓を 心がけ、各施設の不良箇 所等についても確認しな がら管理することが出来 た。	現状維持	施設の老朽化に対応する 計画的な維持管理や不良 箇所等の改善について関 係機関と協議しながら、 適宜整備をおこない快適 に施設利用が出来るよう 配慮する。
美里・地域振興課	グラウンド管理運営事業（美里総合支所）	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の場とし、また地域づくりや地域振興を増進するため、安全で安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行う。</p> <p>美里地域は津市のほぼ中間地点に位置し、みさとの丘をメインとして小規模ながら公共施設並びに体育施設が集中していることから練習などのスポーツ振興の場、趣味・生きがい対策などの健康増進の場として美里地域や隣接する津地域西部、久居地域北西部を中心に利用されています。また、手軽に楽しんでもいただけるコミュニティの場及び癒しの場としての役割を担っていけるように安全な施設管理に努めたい。</p>	快適で安全で安心な施設管理運営	利用する市民目線で施設管理を行う。	140件	78件	施設の老朽化等に より良い環境整備を 適宜行い、安全で安 心な施設運営を行 う。	職員の環境整備に対 する意識を高め、関係機 関との連携強化を行うこ とが出来た。	2	施設を安全で安心して 快適に利用可能な状況に するための体制が取れな かったために、利用者 にご迷惑をかける期間が できてしまったことは大 きな課題となっている。	拡充・充 実	施設の維持管理体制を整 え、施設の整備をおこな い、支障なく施設利用が 出来るよう配慮する。

美里総合支所

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美里・地域振興課	テニスコート管理運営事業（美里総合支所）	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の場とし、また地域づくりや地域振興を増進するため、安全で安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行う。</p> <p>美里地域は津市のほぼ中間地点に位置し、みさとの丘をメインとして小規模ながら公共施設並びに体育施設が集中していることから練習などのスポーツ振興の場、趣味・生きがい対策などの健康増進の場として美里地域や隣接する津地域西部、久居地域北西部を中心に利用されています。また、手軽に楽しんでもいただけるコミュニティの場及び癒しの場としての役割を担っていけるように安全な施設管理に努めたい。</p>		利用する市民目線で施設管理を行う。	540件	464件	施設の老朽化等に 伴い より良い環境整備を 適宜行い、安全で安 心な施設運営を行 う。	職員の環境整備に対す る意識を高め、関係機 関との連携強化を行 うことが出来た。	3	施設を安全で安心して 快適に利用可能な状況 にするため、市民目線 で用具、備品等の整理 整頓を心がけ、各施設 の不良箇所等について も確認しながら管理 することが出来た。	現状維持	不良箇所等について関 係機関と協議しながら 、適宜整備をおこな い快適に施設利用が 出来るよう配慮する。
美里・地域振興課	プール管理運営事業（美里総合支所）	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の場とし、また地域づくりや地域振興を増進するため、安全で安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行う。</p> <p>美里地域は津市のほぼ中間地点に位置し、みさとの丘をメインとして小規模ながら公共施設並びに体育施設が集中していることから練習などのスポーツ振興の場、趣味・生きがい対策などの健康増進の場として美里地域や隣接する津地域西部、久居地域北西部を中心に利用されています。また、手軽に楽しんでもいただけるコミュニティの場及び癒しの場としての役割を担っていけるように安全な施設管理に努めたい。</p>	快適で安心安全な施設管理運営	利用する市民目線で施設管理を行う。	100件	78件	施設の老朽化等に 伴い より良い環境整備を 適宜行い、安全で安 心な施設運営を行 う。	職員の環境整備に対す る意識を高め、関係機 関との連携強化を行 うことが出来た。	3	施設を安全で安心して 快適に利用可能な状況 にするため、市民目線 で用具、備品等の整理 整頓を心がけ、各施設 の不良箇所等について も確認しながら管理 することが出来た。	廃止	不良箇所等について関 係機関と協議しながら 、適宜整備をおこな い快適に施設利用が 出来るよう配慮する 一方で、施設の老朽 化をふまえ、施設の 利用休止を検討する。

美里総合支所

評価：4=できている 3=概ねできている 2=課題克服が必要 1=未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
美里・地域振興課	その他運動施設管理運営事業（美里総合支所）	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の場とし、また地域づくりや地域振興を増進するため、安全で安心を最優先に各運動施設の適切な維持管理を行う。</p> <p>美里地域は津市のほぼ中間地点に位置し、みさとの丘をメインとして小規模ながら公共施設並びに体育施設が集中していることから練習などのスポーツ振興の場、趣味・生きがい対策などの健康増進の場として美里地域や隣接する津地域西部、久居地域北西部を中心に利用されています。また、手軽に楽しんでもいただけるコミュニティの場及び癒しの場としての役割を担っていけるように安全な施設管理に努めたい。</p>	快適で安全で安心な施設管理運営	利用する市民目線で施設管理を行う。	120件	101件	施設の老朽化等に伴いより良い環境整備を適宜行い、安全で安心な施設運営を行う。	職員に環境整備に対する意識を高め、関係機関との連携強化を行うことが出来た。	3	施設を安全で安心して快適に利用可能な状況にするため、市民目線で用具、備品等の整理整頓を心がけ、各施設の不良箇所等についても確認しながら管理することが出来た。	現状維持	不良箇所等について関係機関と協議しながら、適宜整備をおこない快適に施設利用が出来るよう配慮する。
美里・地域振興課	観光施設維持管理事業（美里総合支所）	観光客が安全で安心に経ヶ峰ハイキング及び国史跡長野城跡ハイキング等を楽しんで頂けるように維持管理をし、多くの観光客の誘致を推進することを目的とする。	ハイキングコース等の維持管理	来訪者の満足度など数値化は困難である。また来訪者の数値を把握できないのも現状である。			多くの観光客に利用して頂けるように適正な維持管理等を行っていく。	適正な維持管理がなされていた。	4	適正な維持管理がなされていた。	現状維持	適正な維持管理等を行って頂き、快適に施設の利用が出来るよう配慮する。
美里・市民福祉課	地域ケア推進事業（美里総合支所）	美里高齢者生活福祉センターは、本市に住所を有する高齢者に対し、介護支援機能、居住機能及び交流相談機能を総合的に提供することによる高齢者福祉の増進を目的としています。	施設利用者数	市民生活への寄与の度合いと市民の関心の状況や利用者人数の推移を見ながら判断しつつ、今後の管理運営への指標とします。	365人	365人	高齢者に対して、温かく思いやりの心を持ち共に生きる地域社会、安心して生活できる施設を目指します。	前年度末から増減なし（引き続き入居中）	3	本センターに設置する生活支援ハウス及び通所介護施設（事業者：津市社会福祉協議会）については、現在、入居者及び利用者があるため、引き続き事業を継続する必要がありますが、開設から25年が経過し、施設の改修が必要であることから、定期的に予防点検を実施するなど経費縮減に努めるほか、今後の方向性について本庁等と協議を進めます。	見直し	当施設は、開設（建築）から25年を経過した施設であり、設備等も老朽化が進み大規模な設備修繕が必要な状況です。また、支援ハウスの入居者数は年々減少しており、さらに施設内には、津市社会福祉協議会が設置する介護保険の通所介護事業施設が併設されていますが、現在、津市社会福祉協議会において当該通所介護事業についての今後の在り方が検討されているところです。このことから、入居者及び利用者の状況を踏まえ、支援ハウス事業を含めた施設の使用内容等の今後の方向性について本庁等と協議を進めます。